

「宗教者の家族にみる寺院・神社運営の実態
—近現代日本における役割と変化—」

2025年度
第2回

発表者①：丹羽宣子（立教大学助教、日本文化研究所共同研究員）
発表題目：「“家族経営型寺院”の現在地」

発表者②：牧田小有玲（日本文化研究所研究補助員）
発表題目：「地方神社にみる女性の関与とその社会的定位」

発表者③：高田彩（日本文化研究所客員研究員）
発表題目：「宗教者の家族労働と女性の主体性
—武州御嶽山の宿坊を事例に—」

コメント：工藤万里江（立教大学兼任講師）

2025年10月18日(土)
15:00～17:30

対面：國學院大學渋谷キャンパスAMC棟5F 会議室06
+ Zoomを用いたオンライン配信

発表要旨：

本発表では、近現代の寺院・神社運営における「宗教者の家族」に注目し、家族単位で行われる運営の実態を再考する。従来の研究では、宗教者の家族、とりわけ妻を補佐的存在として描く傾向があったが、実際に宗教が営まれる現場では多様で柔軟な関わりが展開されている。本発表では、宗教者の家族の労働実態や役割分担を明らかにし、社会変動がこうした家族の在り方にどのような影響を与えているのかについても検討する。

参加希望の方は、10月16日（木）までに以下のフォームから申し込みをお願いします。締切後、ご回答頂いたメールアドレスに、研究会のZoomセッションへのリンクをお送りします。

主催：國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

日本文化研究所研究会



もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

問合せ／〒150-8440
國學院大學
研究開発推進機構事務課
03-5466-0104
kikou@kokugakuin.ac.jp